

公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま

2023 年度(令和 5 年度) 事業報告書



2023 年度のみんなつくは、設立から 12 期目（公益 10 期目）となり、『寄付の喜びを実感できる社会の実現を！（寄付を日常に） 寄付者との交流と情報提供を強化する。』を事業方針に、「要綱規定類の見直しとみんなつく運営体制の強化」、「寄付の喜びを実感」「新たな価値創造の取組（関係機関との連携）」という 3 本の柱を掲げ、取り組みをすすめました。

「422 人マラソンリレー（2 回目）」と「寄付月間まつり（3 回目）」のチャリティーイベントでは、実行委員会形式で、地域の方、特に中学生、高校生、大学生とイベントを運営し、地域のイベントとして定着していくように仕組みづくりをすすめました。また、マンスリーサポーターへの情報発信体制の見直し、寄付者と NPO 団体の交流会開催、株式寄付の受け入れ開始（体制整備）など、寄付との接点が増えるように、また寄付者の満足度を高められるように事業に取り組みました。

運営体制については、2024 年度の役員改選・体制変更も見据えて、事務局長を新任し事務局体制の強化を図るとともに、組織運営ルールの見直しを検討しました。

また、「みんなつく×〇〇」の推進として、司法書士会、弁護士会の行事で活動紹介を行ったほか、福武教育文化振興財団や大原美術館と子どもたちが美術館に行く仕組みづくりを推進しました。みんなつくと直接の関わりがなくとも、日常の様々な機会から接点がもてるように、地域のインフラとなるように取り組みをすすめました。

2024 年度は、評議員および役員改選の年でもあり、体制を見直す機会となります。地域のインフラとしての役割を定着させていくためにも、改めて、みんなつくが目指す姿（必要な機能）を考え、それに必要な仕組みや体制の整備を行っていきます。

2023 年度の主な取組（ニュース）

- 設立 11 周年記念式典
- みんなつくフォーラム
- 422 人マラソンリレー、寄付月間祭りを実行委員会形式で開催
- ハロー！ミュージアムプロジェクトの実施（福武教育文化振興財団）
- 大原美術館 入館券寄付プログラムの実施
- 奨学金ネットワーク構築
- 株式寄付の受付（「みんなつく応援株式基金」の新設）



■ 運営に関する事項

2023 年度は、役員等の変更はありませんでしたが、運営体制としては、事務局長を新任（4 月～）し、理事（総務担当・無報酬）1 名、事務局長 1 名、事務スタッフ 2 名（パート）に加えて、ボランティアスタッフ、就実大学からのインターン生受け入れにより、組織運営を行いました。また、セミナー運営やイベント運営は、他の助成団体や NPO と連携して実施を行いました。

○評議員会（総評議員数 5 名）

開催日	出席	決議事項
R5. 6. 26 (FUNLIFECenterBuilding (以下、FLCB)) ※オンライン	評議員 4 名	・ 2022 年度事業・決算・監査報告 ・ 2023 年度事業計画

○理事会（総理事数 7 名、監事 3 名）

回数	開催日	出席	決議事項
1	R5. 5. 21 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 7 名 監事 2 名	・ 2022 年度事業・決算報告 ・ 2023 年度定期評議員会の開催について ・ FUN LIFE 基金・みんつく子ども基金の審査 ・ 事業指定助成プログラム ・ BRIDGE SETOUCHI 連携企画について
2	R5. 9. 3 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 6 名 監事 3 名	・ 2023 年度冠基金・社会変革基金助成について ・ 2024 年度事業執行方針について（継続審議） ・ 事業指定助成プログラムについて ・ 株式寄付の受け入れについて
3	R5. 12. 3 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 5 名 監事 2 名	・ 2023 年度冠基金・社会変革基金助成について ・ ろうきん寄付システムの助成について ・ 2024 年度事業計画について（継続審議） ・ 資金運用規程・冠基金規程(改定)について ・ (一社)全国コミュニティ財団協会への対応について
4	R6. 3. 10 ※オンライン	理事 6 名 監事 1 名	・ 2024 年度事業計画について ・ 2024 年度執行体制について ・ 社会変革基金・冠基金の審査について ・ 福祉人財育成奨学金助成について ・ ろうきん寄付システムの審査について ・ みんつく応援株式基金管理規定について



■ 事業報告

○「割り勘で夢をかなえよう！」事業指定助成プログラム

～ 事業実施者と寄付者をつなぐ ～

2023 年度は、制度設計の見直しを行い、団体の寄付募集のはじめの一步を応援する「はじめの一步型」と、すでにある程度の活動実績と継続性が認められる団体の特定のプロジェクト組成を応援する「事業発展型」の 2 種類で公募を開始しました。クラウドファンディングに関する相談は多くありましたが、公募時期とのタイミングが合わないケースや、他の民間クラウドファンディングサービスを紹介することで団体のニーズを満たすことが多く、みんつくの事業指定助成としての、応募団体はありませんでした。

【次年度への課題】

他の民間クラウドファンディングサービスとの区別を明確にし、各団体にあった取り組みが提案できるよう、引き続き相談対応は通年受付を行います。また、団体支援の体制強化のため割り勘ワークブック指導者の養成も継続して実施します。

○「みんなの貯金箱をもとう！」

冠基金・社会変革基金事業

～ 寄付者の思いに寄り添った制度設計 ～

2023 年度は、冠基金 5 基金 6 テーマ、社会変革基金 1 基金 1 テーマについて募集し、うち 4 テーマにおいて 6 団体、1 名の合計 7 事業の助成を行いました。

今年度も、「みんなの活動」助成団体連絡会との連携などにより効果的に情報を届けることができました。

団体・個人の新しい挑戦やはじめの一步を応援する仕組みとして、「FUNLIFE 基金」と「みんなつく子ども基金」については 4 半期毎の公募を行いました。これにより、助成金公募時期にとらわれず、それぞれの活動や思いに合わせたタイミングで、いつでも活用いただきやすい体制を構築しました。

一方、社会変革基金「地域助け合い基金」については大きな寄付の増加がなかったため、助成実施はできませんでした。また、2020 年度に設置した「みんなつく災害支援基金」は、今年度は対象となる災害対応がなかったため、引き続き災害に備えて寄付の募集を行います。

その他、事務局をつとめる「ろうきん NPO 寄付システム」は 4 団体への分配を実施しました。

また、山根慎一郎様から株式会社 NICS 普通株の寄付のお申込みをいただき、「みんなつく応援株式基金」を新設しました。これを機に、規定類の改定を行ったほか、岡山県から「公益法人等に対して財産を寄附した場合の譲渡所得等の非課税措置における基金に関する証明書」の証明を受けることで「みんなつく応援株式基金」への寄付者が税制優遇措置を受けられるようにするなど、株式寄付の受付体制を整備しました。

【次年度への課題】

社会変革基金の 4 テーマ（地域助け合い・みんなつく子ども・にこみ復興・みんなつく災害支援基金）については、寄付募集体制を強化し、日ごろから知ってもらいやすい仕組みづくりを進めていきます。

くらし“き”になる基金、山本基金、は、それぞれ 1 事業からの応募がありましたが、いずれも基金設置者との意向に合致しないため不採択となっています。いずれの事業も、事業内容はとても有意義なものであり、事業の発展のための支援を行っていきます。



また、四半期毎の公募をはじめ、引き続きニーズに応じた基金運営と運営体制の整備を行っていきます。

新設した「みんつく応援株式基金」については、基金設置者以外の方からの資金追加も可能であるため、地域の寄付文化創造に向けた新たな選択肢のひとつとして、周知していきます。

【助成実施した基金】

テーマ	設置者	基金名	助成団体名	助成金額
まち・むら	匿名希望	FUN LIFE 基金 (第1期)	そうじゃ食堂 くうねるあそぶ	100,000
		FUN LIFE 基金 (第4期)	ねこねっこ 「たまりばタマ」	100,000
子ども福祉	匿名希望	福祉人財育成 基金	NPO 法人 メンターネット	400,000
障がい (福祉)	匿名希望	福祉人財育成 基金 奨学金助成	新規助成 1 名	340,000
子ども・ 若者支援	みんつく (社会変革基金)	みんつく 子ども基金 (第1期)	こども食堂 岡ちゃんち	70,000
			NPO 法人 保育サポート 「あい・あい」	70,000
		みんつく 子ども基金 (第4期)	NPO 法人 まんなか	50,000

【その他の助成事業】

テーマ	内容	助成団体数	助成総額
NPO 分野	ろうきん NPO 寄付システム	4 団体	200,000

○災害支援基金 「ももたろう基金」 助成実績

2018 年度に新設した平成 30 年度西日本豪雨災害の支援基金「ももたろう基金」（寄付募集、助成事業募集はともに終了）については、新型コロナウイルスの影響等で延期となっている事業も含めて、2024 年度内には全助成事業が終了する見通しとなったため、「ももたろう基金」の取り組みや助成事業の活動報告とノウハウ移転を目的とした、報告書作成やフォーラム開催を行いたいと考えています。

また、今後の災害支援関係は、みんつく災害支援基金を活用するとともに緊急時対応として OB・OG のネットワーク組織の構築等につとめていきます。

【ももたろう基金のスキーム】



事業の様子



第 14 次助成 一般社団法人 お互いさま・まびラボ

○「みんなとやればできるはず！」地域円卓会議

2023 年度の地域円卓会議は、当法人学生理事が中心となり、若者円卓会議を開催しました。今後の若手のチャレンジ支援について必要な支援について検討しました。

また、昨年度に引き続き、助成団体との交流や意見交換を行う機会を設けるとともに、他エリアのコミュニティ財団と災害支援基金の取り組みについて調査するなど、知恵や知識を共有し、交流する機会を設けました。

(地域円卓会議) 開催

月	内容	開催場所
12 月	高校生・大学生による若者円卓会議 「未来を創ろう！ 学生同士で夢ややりたいことを話し合う会」 (総社市市民提案型事業補助金を活用し実施)	FLCB



12 月 若者円卓会議の様子

○情 報 発 信

2023 年 5 月から、新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行されたこともあり、現地開催での行事も増えてきました。それに伴い、情報発信も、参加者や開催内容等、対象に応じて、オンラインと現地開催を併用しながら実施しました。

特に、助成事業の情報発信については、「みんなの活動」助成団体連絡会で連携し、合同説明会や他団体の事業内での情報発信など、自団体のみならず県内の助成団体での発信力を強化していきました。

また、依頼に応じて講師派遣を実施しました。

○ノウハウ移転事業

2023 年度は、市民活動に関する包括協定をむすんでいる瀬戸内市の支援を行うとともに、他の公益法人への支援を中心に行いました。DV 被害者の自立支援を行うサンフラワー基金の運営支援や全国各地のコミュニティ財団の運営や災害支援基金の助言を行いました。その他、『『百間川』水とみどり基金』などの審査員を理事がつとめたほか、総社市内の地域づくり協議会の会議コーディネートを事務局がつとめました。

(主なノウハウ移転事業一覧)

相手先	内容
瀬戸内市	「協働のまちづくり推進事業」 <ul style="list-style-type: none">・ 市民団体・学生支援、モデル事業支援・ 補助金運営支援・ 職員研修
公益財団法人 サンフラワー基金	<ul style="list-style-type: none">・ 公益法人運営について・ 助成事業の設計について
コミュニティ財団関係	<ul style="list-style-type: none">・ インターン受け入れ 〔(一財) たかまつ讃岐てらす財団〕・ 事業、活動紹介 〔全国コミュニティ財団協会 公募説明会〕
認定 NPO 法人 ハーモニーネット未来	<ul style="list-style-type: none">・ 中四国フードバンク活動ネットワーク構築支援

公益財団法人 福武教育文化振興財団	・ハロー！ミュージアムプロジェクト 仕組み構築支援
公益財団法人 大原美術館	・入館券寄付プログラム構築 (モデル事業実施)
総社市 地域づくり協議会 ・秦地区、・神在地区、 ・山手地区 ・総社小学校区	・全世代みんなの会議 コーディネート



○セミナー

2023 年度の＋１セミナーは、新型コロナウイルスが５類感染症に移行されたこともありし、現地またはオンラインを併用して開催しました。

(＋１セミナー) 開催：計画年４回程度 実施５回

月	内容	開催場所
５月	NPO のための資金調達セミナー	ゆうあいセンター
６月	2023 年度第１期助成 助成式&説明会	FLCB １階
10 月	ノーコードセミナー	FLCB ２階＋オンライン
11 月	事業指定助成プログラム・助成金説明会	FLCB １階＋オンライン
１月	奨学金勉強会	FLCB １階＋オンライン

○Share 会議

2023 年度の Share 会議は、現地開催を基本に、参加者の希望に応じてオンラインとのハイブリッド形式で開催しました。

今後も、参加者や企画内容に応じて開催方法を工夫し、多くの人が利用しやすい機会提供を行っていきます

(Share 会議) 開催：計画年 4 回程度 実施 8 回

月	内容	発表者	場所
4 月	福祉のチャレンジを応援する仕組み①	くらしき支援 LABO 安藤 氏 佐藤 氏	虹色商店
5 月	福祉のチャレンジを応援する仕組み②	くらしき支援 LABO 吉信 氏	虹色商店
8 月	全青司おかやま全国研修会 出展	—	岡山コンベンション センター
9 月	災害支援基金 調査報告会	全国コミュニティ 財団協会	オンライン
10 月	知る！見る！食べる！ ハルハウスのカレーとお話し会	ハルハウス 井上 正貴 氏	ハルハウス
1 月	被災家屋活用事業 検討会	ぶどうの家わたぼうし 武田 氏 津田 氏	FLCB 1 階
2 月	みんつく未来会議(内部会議)	みんつく役員	FLCB 2 階
3 月	ももたろう基金の取り組み紹介 (日本弁護士連合会 全国協議会)	石田 専務理事 大山 監事	岡山弁護士会館



○調査・研究会等

岡山県から受託した地域力向上支援事業をきっかけに生まれた「みんなの活動」助成団体連絡会では、新型コロナの感染症法上の位置づけが2023年5月から5類に引き下げられ、社会情勢が大きく変わる中、今後どのように取り組んでいくか、連携して課題解決や価値創造を行うためにどうしていくかなど話し合いました。そのほか、コミュニティ財団の運営について情報共有・収集などを目的に、全国コミュニティ財団協会の意見交換会や、昨年度からはじまった市民ファンド・コミュニティ財団関係者による勉強会（市民ファンド/コミュニティ財団の集い）等に参加しました。

また、奨学金を必要な人が、簡単に情報にリーチでき、制度を活用しやすい仕組みづくりとして、岡山県内の奨学金ネットワークの構築事業にも取り組みました（真如苑の社会貢献活動助成を活用）。

【「みんな活」助成団体連絡会】

月	研修会・会議名	内容
7月	コアメンバー会議	2023年度の活動について意見交換@オンライン
10月	and F 教室	合同説明会・相談会の実施 @オンライン（福武教育文化振興財団主催）
1月	「みんな活」助成団体合同説明会	合同説明会の実施@オンライン（岡山NPOセンター主催）

【コミュニティ財団の運営について】

月	研修会・会議名	内容
5月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い（勉強会）	選考の実務について（プロセスや選考基準など）① @オンライン
6月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い（勉強会）	選考の実務について（プロセスや選考基準など）② @オンライン
9月	全国コミュニティ財団協会 災害支援基金 調査報告会	災害支援基金調査結果報告（澤田さん）、事例紹介・トークセッション（みんつく他） @オンライン
10月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い（勉強会）	助成の出口（助成先の活動の持続性と助成プログラム）について @オンライン
10月	全国コミュニティ財団協会 ランチ交流会	会員財団インターン報告会（みんつく・澤田さん登壇）、交流会 @オンライン
12月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い（勉強会）	助成事業の報告書（助成対象の成果報告や助成プログラムの報告など）の事例、工夫や課題について

○そ の 他 （寄付文化創造）

毎月 29 日の「ツクル日」は、FLCB を活用して地域との交流のきっかけづくりを行いました。特にチャリティーイベントとその関連企画の開催によって、総社周辺の地域の方々に寄付を身近に感じていただく機会提供を行いました。

（ツクル日）開催：29 日頃、実施 9 回

月	内容	開催場所
5 月	ボーイスカウト全国大会 ブース出展	おかやま未来ホール
6 月	みんつくボランティア交流会	FLCB 1 階
8 月	FM ぐらしきビアガーデン	倉敷アイビースクエア
9 月	みんつく 11 周年記念式典	FLCB 1 階
10 月	422 人マラソンリレー	総社北公園陸上競技場
11 月	「from Me」体験会	FLCB 1 階
12 月	寄付月間祭り 2023	FLCB 1 階
2 月	奨学金ネットワーク シンポジウム	岡山県立大学
3 月	みんつくフォーラム 2024	FLCB 1 階

【422 人マラソンリレー】 \ スポーツ×チャリティー /

1 人 100m 幅広い世代、延べ 422 人でバトンをつなぎ 42.195 km マラソンの世界記録を目指すチャリティーイベントです。昨年に引き続き、2 回目の開催となりました。

リレー中には、NPO 団体の活動紹介展示や寄付について考える企画等を実施し、地域団体の周知や寄付の呼びかけと発信を行いました。

- ・日 時： 2023 年 10 月 21 日（土）13:00～
- ・場 所： 総社市北公園陸上競技場（〒719-1115 岡山県総社市福井 1200）





【寄付月間祭り】 \ お祭り×チャリティー /

“まちの文化祭”として、縁日やNPO紹介・出店、チャリティーバザー、県大生の作品展示・販売などのチャリティーイベントを開催しました。2021年の開催から3回目の実施となりました。

イベント会場で使うお金は全て、地域のNPO団体等への寄付につながる仕組みとし、参加者自身に寄付先を選んでもらう仕組みとしました。

『欲しい未来へ、寄付を贈ろう。』を合言葉に、毎年12月に開催される全国的な寄付啓発キャンペーン「寄付月間」に合わせて開催しました。

- ・日 時： 2023年12月10日(日) 12:00～17:00
- ・場 所： FLCB（総社市中央2丁目2-8）





5 月 ボーイスカウト全国大会 ブース出展



9 月 みんなつく 11 周年記念式典



11 月 「from Me」体験会



12 月 寄付月間祭り

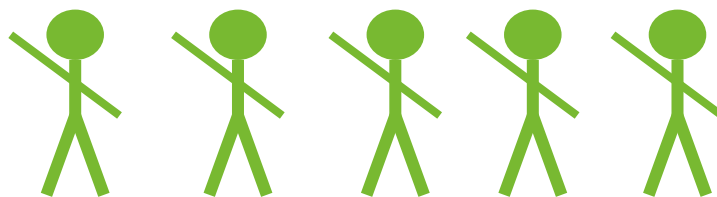


2 月 奨学金ネットワーク シンポジウム



3 月 みんなつくフォーラム 2024

**2023 年度も
ありがとうございました！**



以上のとおりであるが、2023 年度事業報告は本文にて事業等が詳細に説明され、したがって「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は不要につき、附属明細書は作成しない。